

## ～消化器科から～



## 鎮静下での下部消化管内視鏡検査

消化器科 副部長 池田 多聞

消化管の検査は、主として内視鏡です。上部消化管内視鏡（胃カメラ）・下部消化管内視鏡（大腸カメラ）と言いますが、いずれも決して楽な検査ではありません。特に大腸の検査の場合は、下剤の内服だけでも大変なのに、その後の検査で苦痛を伴う場合もあります。筋肉量の少ない痩せた女性や高齢者、あるいは逆に肥満体の方などは、検査時に『お腹が張る』『お腹が痛い・苦しい』という訴えをされる事があります。

そこで当院では鎮静下での内視鏡検査というのを準備しております。簡単にいえば麻酔をして、眠っている間に検査をしてしまおうというものです。その際に使用する薬は、特性として『逆行性健忘』があり、麻酔前後の記憶があいまいになります。その結果として仮に検査中に苦痛があったとしても、痛い・苦しいという記憶が不鮮明になり、苦痛を覚えていないで済みます。

鎮静をかけて検査した場合、検査終了後も麻酔薬の効果が多少残っている場合があります。完全に目覚めたつもりでも、そのあとでフラついたりすることがあり、車の運転は厳禁です。また階段を昇降するときに転倒したりするかもしれません。事故防止の為に、鎮静下での検査をされる方は1泊入院をお願いしております。全く苦痛が無いとは言えませんが、かなり軽減されるのではないかと思います。

## 病院敷地内全面禁煙のお知らせ



平成23年4月1日より  
病院敷地内の全面禁煙  
を実施します。  
皆様のご理解とご協力  
をお願いいたします。

## 飲食・休憩スペースを設置いたしました！



飲食・休憩スペース  
を1階ホールに設  
置しました。

ちょっとした軽食や  
休憩など、ご自由  
にお使い下さい！

## 泌尿器科からのお知らせ

4月から応援医師の都合上、木曜日の診察を休診する場合があります。診察は予約制になりますので、あらかじめ診療日を確認し、予約申込みをしたうえでの受診をお願いします。